

山口県議会11月定例会

笠本俊也 代表質問 要約

県議会の録画中継は
下記からご覧になれます
<http://bit.ly/1dhFZPB>

質問② デフレ完全脱却に向けた 地域経済の好循環の 実現について

人口減少の克服に向けた 令和6年度当初予算編成 について

人口減少や少子化の克服へのアプローチは、県の特性や産業構造により様々で、自民党は6月議会で人口流出の原因分析と検証を改めて行い、少子化対策に当たり若者や子育て世帯の声に耳を傾けよう訴えた。

本県で進めてきた様々な取組の効果とボトルネックを整理し示すことは、次の一手を打つ重要なプロセスであり、未来維新プランの着実な実遂も何より求められる。

人口減少や少子化を乗り越え、本県が発展的再生を遂げていくための今後の方針性をどう考え、その具現化に向け、来年度予算編成にどう取り組むのか。

答弁 村岡知事

本県で進めてきた様々な取組の効果とボトルネックを整理し示すことは、次の一手を打つ重要なプロセスであり、未来維新プランの着実な実遂も何より求められる。

人口減少や少子化を乗り越え、本県が発展的再生を遂げていくための今後の方針性をどう考え、その具現化に向け、来年度予算編成にどう取り組むのか。

その処方箋が「やまぐち未来維新プラン」。これまで、産業維新では「Y-IBE S-E」によるデジタル実装事例の創出、コンビナートの脱炭素化に向けた取組の進展、半導体・蓄電池関連企業の誘致等が進み、大交流維新では、県産農林水産物等の新たな海外市場の開拓が進み、生産維新では、デジタル技術を活用した新たな生活サービスの提供や防災・減災対策の充実等の成果が生まれた。今後も成果を着実に積み重ね、本県の発展的再生の流れを確かなものとしていく。こうして考案の下、来年度当初予算編成に当たる「人口減少の克服」と「未来維新プランの着実な推進」を基本方針に掲げ、これまで成果を追求する姿勢で人口減少の克服と本県発展に確かな道筋をつけていく決意。

これまで進めてきた物価高騰対策に続き、今補正予算においても県民や事業者の負担軽減を図るため、「①LPガスと特別高圧電力を利用する中小企業等に対する負担軽減について、支援期間を延長する、「②光熱費等の高騰により厳しい経営環境にある医療機関や社会福祉施設等に対し追加の支援金を支給する」追加措置を講じる。人手不足への対応は、先の補正予算で設けた、賃上げとともに柔軟な働き方を導入する中小企業に対し、最大100万円の奨励金を支給する制度に加え、デジタル技術活用による省力化を進めため、Y-IBASEでのDXコンサルやシステム導入補助等により、企業の生産性向上を図る取組を支援し、魅力ある職場環境整備につなげる。産業人材の確保に向けては、山口しごとセンターで企業の魅力発信や就職フェアの開催など総合的支援を実施中。今後は県内企業と若者とのマッチング強化等に向け新たな取組を検討する。転職フェアの出展支援

私は自民党の一員として、政策聴聞会等で県内の各地域や各界から次年度予算編成と施政決定に関する意見やご要望を拝聴しています。今を生きる県民の声を次なる施策に反映させていくよう、提言を重ねてまいります。

これまでの事業効率を一日も早く県民の皆様にお届けするためには、事業の早期着手、早期執行が求められます。併せて答弁のあつた諸施策が広く皆様に行き届いていくよう、これから動きを注視してまいります。

県施策の事業効率を一日も早く県民の皆様にお届けするためには、事業の早期着手、早期執行が求められます。併せて答弁のあつた諸施策が広く皆様に行き届いていくよう、これから動きを注視してまいります。

質問③ 産業戦略の推進 について

人手不足やデジタル技術進展による産業構造の変化、海外需要の先行き不安等、本県産業を取り巻く状況は不確実性が高まっているが、変化の中でも強みと可能性に対して重点的に予算と資源を投入し、本県産業を先導していくことは産業戦略の要諦。産業イノベーション戦略改定の素案では、未来維新プランの視点を踏まえ再編拡充が図られ、戦略的海外展開等も追加されたが、次期産業戦略で本県産業力をどう強化しようと考える素案を策定されたのか。また、それを支える産業基盤の整備にどう取組むのか。

県施策の事業効率を一日も早く県民の皆様にお届けするためには、事業の早期着手、早期執行が求められます。併せて答弁のあつた諸施策が広く皆様に行き届いていくよう、これから動きを注視してまいります。



質問④ 強い農林水産業の 実現に向けた 輸出力強化について

人手不足への対応は、新たに高度産業人材確保・育成促進プロジェクトを掲げ、高校生等の県内定着への支援強化や女性デジタル人材の活用等りスキルアップ支援など、集中的に産業人材の確保育成に取組む。

またコンビナート企業の国際競争力の維持・強化に向け、周南地域でのアンモニアサブライチーン構想等、カーボンニュートラルコンビナートの実現に向けた企業の先導的取組を後押しする。

次期産業イノベーション戦略の改定に伴う輸出推進会議を設立し、また県内の輸出関連事業者や海外のバイヤー等が一堂に会した推進大会の開催等、輸出促進の機運醸成を図っており、この会議では、輸出先や品目毎に複数の生産者や事業者等が連携した輸出ユニットの構築を進め、輸送コストの低減等につながる商品の大口化・多品目化の推進と併せ、商品の集荷や決済等の商社機能を有する事業者の育成も進めている。県産品の売込強化に向けては、台湾やベトナム、シンガポールにおいての現地イベント出展や小売店でのアスト販売等を実施した結果、新たな商談の成立等の成果が上がり、今後もフグや日本酒、和牛等、本県食材を海外での県産品フェアや試食会等でPRや商談会実施等、新規取引開拓に向けた取組を進め。特に「やまぐち和牛焼」は、先般、台湾の飲食関係者の本県視察の際、私自身が直接働きかけ、輸出に向けた手応えを実感、今後商談立に向け取組む。また、台湾やベトナムでのフグの輸入解禁も要請しており、引き続き規制撤廻に向け取組む。

今後の輸出拡大に向けては国々で異なる規制や検疫のクリア、個々の出荷量が小さく見合わない輸送コスト、商品を集約して輸出する商社の不在等物流の大変な課題があります。その対応

を行つて、私も議会・委員会を通じ、引き続き提言を重ねてまいります。

国内市場の縮小が避けられない中、海外需要去取り込んでいく等、将来を見据えた挑戦的な取組を確立していくことが重要。本県のふぐややまぐち和牛焼、長州黒かわしなど、特に今年度は、台湾、シンガポール、ベトナムにおいて、議会と一緒にになったトップセールスを積極的に実現に向けた国との取組や国全体の機運を、本県農林水産業の稼ぐ力に結びつけ、担い手が将来に希望を持つて從事できる強い農林水産業の実現に向けた起爆剤とすべきだが、県産農林水産物等の輸出力強化にどう取り組むのか。

私は議会・委員会を通じ、引き続き提言を重ねてまいります。

答弁 村岡知事

コロナ禍が落ち着きを見せ、世界中の交流・物流が一斉に動き出したこの機を逃さず、輸出力強化に官民一体となつて取組む。効率的輸出体制の整備についても、本年度新たに県や支援団体等で構成する輸出推進会議を設立し、また県内の輸出関連事業者や海外のバイヤー等が一堂に会した推進大会の開催等、輸出促進の機運醸成を図っており、この会議では、輸出先や品目毎に複数の生産者や事業者等が連携した輸出ユニットの構築を進め、輸送コストの低減等につながる商品の大口化・多品目化の推進と併せ、商品の集荷や決済等の商社機能を有する事業者の育成も進めている。県産品の売込強化に向けては、台湾やベトナム、シンガポールにおいての現地イベント出展や小売店でのアスト販売等を実施した結果、新たな商談の成立等の成果が上がり、今後もフグや日本酒、和牛等、本県食材を海外での県産品フェアや試食会等でPRや商談会実施等、新規取引開拓に向けた取組を進め。特に「やまぐち和牛焼」は、先般、台湾の飲食関係者の本県視察の際、私自身が直接働きかけ、輸出に向けた手応えを実感、今後商談立に向け取組む。また、台湾やベトナムでのフグの輸入解禁も要請しており、引き続き規制撤廻に向け取組む。

今後の輸出拡大に向けては国々で異なる規制や検疫のクリア、個々の出荷量が小さく見合わない輸送コスト、商品を集約して輸出する商社の不在等物流の大変な課題があります。その対応

を行つて、私も議会・委員会を通じ、引き続き提言を重ねてまいります。

答弁 村岡知事

コロナ禍が落ち着きを見せ、世界中の交流・物流が一斉に動き出したこの機を逃さず、輸出力強化に官民一体となつて取組む。効率的輸出体制の整備についても、本年度新たに県や支援団体等で構成する輸出推進会議を設立し、また県内の輸出関連事業者や海外のバイヤー等が一堂に会した推進大会の開催等、輸出促進の機運醸成を図っており、この会議では、輸出先や品目毎に複数の生産者や事業者等が連携した輸出ユニットの構築を進め、輸送コストの低減等につながる商品の大口化・多品目化の推進と併せ、商品の集荷や決済等の商社機能を有する事業者の育成も進めている。県産品の売込強化に向けては、台湾やベトナム、シンガポールにおいての現地イベント出展や小売店でのアスト販売等を実施した結果、新たな商談の成立等の成果が上がり、今後もフグや日本酒、和牛等、本県食材を海外での県産品フェアや試食会等でPRや商談会実施等、新規取引開拓に向けた取組を進め。特に「やまぐち和牛焼」は、先般、台湾の飲食関係者の本県視察の際、私自身が直接働きかけ、輸出に向けた手応えを実感、今後商談立に向け取組む。また、台湾やベトナムでのフグの輸入解禁も要請しており、引き続き規制撤廻に向け取組む。

今後の輸出拡大に向けては国々で異なる規制や検疫のクリア、個々の出荷量が小さく見合はない輸送コスト、商品を集約して輸出する商社の不在等物流の大変な課題があります。その対応

を行つて、私も議会・委員会を通じ